

先月実施した保健講座 についてのアンケートの結果(裏面を見てください。)から、生活委員で検討し、次の方針で今後計画を進めたいと思います。ご協力をお願いします！

- 1 方向性～高校入学時からこれまでに保健講座などで取り組んできた内容をさらに発展させる、あるいは、全く違う内容に取り組む。
- 2 方法・講師について～「**実技・体験を中心**」に。**専門家(外部)に依頼する。**
- 3 内容決定の方法～アンケートで希望の多かった次の4つのテーマにそった具体的な展開の計画を生活委員で検討し、次の6つの具体的な計画案をたてました。

どのような内容になっても、すべては講座の目的である「**自分自身で今後の自分の生き方を考える**」につながるので、再度「アンケートその2」で希望をまとめ、決めていきたいと思ひます。

なお、この4項目の他に希望の多かった「**福祉・ボランティア**」については今後ボランティア部を中心に有志参加企画を実施することで代替えとします。また、「**思春期・青年期の課題と将来の夢**」については今年度実施した教育講演会や保健講座(1年時のピアサポート体験や今年度のふれあい体験講座)などで経験しているとらえ、今回テーマからははずしました。

そこで、次の6つの案から取り組みたい内容の案を希望順に、2つ選んでください。

*それぞれ講師にはできるだけ体験的要素を取り入れていただくよう要望し、検討します。

	具体的な展開案	テーマ
案1	<u>普段の生活の中で「冒険(新しい発見)・「挑戦」していくためのプログラム</u> に取り組む。コミュニケーションゲームなどを中心に。 講師：FAN(体験活動支援ネットワーク) 北海道教育大学岩見沢校平野直己准教授。 場所：体育館(?)。	冒険教育
案2	<u>「CAP(子どもが暴力から自分を守るための人権教育プログラム)」高校生プログラム</u> に取り組む。具体的内容は1日目「いじめ」「Eメッセジ」、2日目「(知っている人からの性暴力)デートレイプ」についてのワークショップ。 *1日2時間(100分)を2日間(連続でなくともよい)のプログラム内容です。 講師：北海道CAPをすすめる会スタッフ3名。 場所：教室(?)。	性に関する こと (人権に関する こと?)
案3	<u>エイズについてのワークショップ。ロールプレイなどの参加型のも可能。</u> HIV・エイズの現状。感染経路と予防方法。相談できる場所・セクシャリティ。エイズ検査。感染後の生活。エイズメモリアルキットの紹介など。 講師：「レッドリボンさっぽろ」に依頼。場所：教室。	
案4	<u>思春期の男性の性について。思春期男子の心身変化の特徴などの正しい知識。</u> 講師：泌尿器科医師。例)札幌医科大学准教授伊藤直樹医師。場所：「教室」。	
案5	<u>骨髄バンクや臓器移植について学び、「生と死について」考える。骨髄バンクの関係者の体験談なども可能。講話。</u> 講師：「骨髄移植推進財団」。場所：教室。	骨髄バンク・ 臓器移植など
案6	<u>食育について。食べることは生きること。食教育を通して自身の生涯学習を考える等。</u> 講師：「講師バンク登録講師」例)貫田桂一氏。 場所：教室。	環境問題・ 食育

ありがとうございました。今後もご協力をお願いします！！

キリトリ

第1希望・・・ _____ 第2希望・・・ _____

(*何か実棒があれば下の余白に、自由に書いてください。)